

TUTTI #七タ★

DONA NOBIS PACEM 2022 VOL.11

本番に向けて

2019年11月16日バッハ「ヨハネ受難曲」の演奏会から
早2年半が過ぎ、長いトンネルを抜け
ようやく2023年6月17日のバッハ「口短調ミサ」演奏会の実現に向け
本格的な準備が始まりました。

コロナ禍ではありましたが、団としては2年半の長きに渡り
「口短調ミサ」の練習をしてきました。

今から更に1年をかけて演奏会に臨むのですから
同じ曲をこんなにも長期間練習することは二度と無い事でしょう。
(未来は解りませんが、同じ事が起こらないと祈るばかりです)

それだけの期間を費やしたのですから、細部に至るまで熟知したと
自負し記念碑となるような演奏になるよう
残りの時間を有意義に使い精進して行きましょう。

プロにとっても難しい曲ですから、
どんなに努力して練習しても全てを完全に
歌い熟すことは出来ないかも知れませんが、
この一年大切な事は、
妥協せず努力を続けるプロセスですから、
日々挑戦を怠らず厳しい道を歩き続けて、
どんな形であれ皆で力を合わせ助け合いながら
一人も欠けること無く
「口短調ミサ山」の頂上制覇を成し遂げましょう！

金井 敬



出来た！ という喜びを重ねていく…

そうすれば素敵な1年後がやって来ると思います。

(これは"おまじない"でも"KUMONの宣伝"でもありません)

皆さん毎回の練習に少し予習をして臨んでおられると思います。

それとは別に「その日に自分が必ず出来そうな小さな目標」を1つ決めて参加してみてください。(姿勢、口形、発音、暗譜etc.)

その日の練習内容に、欲張って常時1つ付加するということです。

180分の練習時間、もし毎分思い起こせば180回！

持って来られた目標は、帰る頃には絶対に自然に出来ています。

出来た！ というのは本当は 「考えなくても出来た！」 ということなのです。

あと20数回の練習、毎回それを皆さんで積み重ねれば

きっと素敵な演奏になると思います。

それからもう1つ、Bachを楽しむ上で欠かせない2作品。

知らず栄養となります。

無伴奏チェロ組曲・無伴奏ヴァイオリンソナタ&パルティータ、

是非丁寧に聴いてみてください。

最後まで応援しています！

★ 前川陽子 ★

とうとう1年後に演奏会ですね！

コロナ禍では、沢山の合唱団の演奏会が中止に追い込まれ、本当に大変な思いをされているのを目の当たりにしてきました。

TIVEはそのようなこともない幸運に恵まれましたが、演奏会という目標が作れない時期が長くなってきたと少し心配もしておりました。

でも、東京でのホール争奪戦に見事に勝ち抜いて、晴れて演奏会ですね。

きっと来年の6月は今よりも過ごしやすく、歌いやすい環境になっていることと思っています。

口短調の素晴らしさを噛みしめながら、1回1回の練習を大切に、演奏会まで「TIVEの口短調」を作り上げていきましょう！

★ 広瀬奈緒 ★

七夕祭り★★ わたしたちの願い

中橋和江(A)

仲間と歌えることの喜びを感じています。

金子幸代(S1)

口短調ミサを澄んだ音で演奏したい。
お星さまお願いします✧

横山雅子(A)

長い間、お休みしたので
皆さんの足を引っ張らないか心配です。
追いつけるように勉強したいと思います。

中川智津子(S2)

ようやく見えてきた演奏会、
練習に2年強かけた成果が
出せるように頑張ります！！

持田忍(A)

皆で集まって、練習出来ますように

加藤典子(A)

コロナ禍で難航しましたが、ようやく口短
調ミサ演奏会の目途が立ち、ホッとしてい
ます。この先は全力で前進するのみ。
願わくば
本番はマスク無しで歌えますように！

長瀬靖子(S1)

口短調は、何回でも歌いたい曲で、
何回歌っても歌えない曲で、
一番素敵な曲で、一番好きな曲です。
いつか歌えるようになりたいな。

須藤幸江(A)

1年後杉並公開堂での「口短調ミサ」公演
『華の舞台』を想定して頑張ります。。
先ず今できる事を全力で・・
☆「全日程練習参加」+予習復習で前へ前へ
☆「団員増強」団員が増えますように・・
☆健康で頑張れますように(^^♪

河野真里(A)

初めてなのでいろいろと
教えていただければと思います。

阿久津みどり(A)

一つ一つの曲に丁寧に取り組みたいです。

青木真理子(S1)

この数年のコロナ禍で、以前のようなコ
ンサートを開催参加することは夢かもしれ
ないと思ったこともありました。
練習でも以前の良い状態のときを取り戻
すのは難しいと感じもしました。
でも先生方やお仲間の皆さまのお陰で、
まだまだ努力すれば可能性があると思
えてきています。
歌えることの有り難みを強く知った今、
感謝しつつできる限りの努力をしたいと
思います。

渡邊弘子(A)

正しい練習をして上手になりたい。

中右絢子(A)

金井先生の下でバッハ・口短調を歌うの
は3回目です。(1999年、2013年、と
今回・・)どれも思い出深いですが今回
このようなコロナに見舞われた中でも練
習を続けられ、来年、幸いにも演奏会を
開催することができたらこんなに嬉しい
ことはありません。1日、1日、一回一回
の練習を積み重ね大切に過ごしたいです。
委員会ははじめ・お世話いただいた方々感
謝です。

福島幸子(S1)

口短調ミサは何度歌っても奥が深く
難しい曲だと改めて痛感します。
技術的にはまだまだ全然ですが、
ほんの少しでも金井先生の目指すもの
に近づくことができるように頑張りたい
ですね。

浜崎千鶴(S1)

気が引き締まりますね。
練習録音を聴くと課題ばかりが顕在化してしましますが、一年後には聴きに来てくださるお客様に幸せな気持ちを持ち帰っていただけるよう頑張りますよ！

二葉 亜貴(S2)

頑張ります

和田朋子 (A)

今歌えることの喜びと、感謝の気持ち、1年って実は短い、ということをお忘れずに、楽しみながら本番を目指して頑張りたいと思います。

中野光子(S2)

無事に演奏会が開催されることを！

佐藤雅規(T)

頑張ります

殿村健朗(T)

口短調ミサ、もう一度チャレンジしたいけれど厳しそうです。でもZOOMでなるべく聞くようにしています。皆さん頑張ってください。もしかすると何年ぶりかで聞く方になるかも。前は入会する前メサイアを夜行バスを利用して聞きに行きました。駒場だったような。

星 徹(B)

口短調ミサ、初めてですが、1年間頑張ってみようと思ひして入団いたしました。よろしくお願ひいたします。

岡野良則(T)

パートが揃った演奏ができるようになることを願っています。

沢田 高志(B)

正しい発声→正しい音程→美しい演奏を目指して

石川祐子(S2)

とにかく楽しみ。
ステージに立ったらきっと感極まって泣いてしまうだろうなあ。でもその涙が悔し涙にならないように、一回一回の練習を大切にしたいです。

高戸祥隆 (T)

団員を7, 8人増やしたい。
体力が衰える中、何とかブレスを深くしたい。

馬岡 利吏(T)

難産ですが、しっかりと準備して演奏会に挑みたいと思います。
厳しさも必要ですね。
厳しいことも申しあげるかも！！ 笑笑

高原智子(S2)

TIVE再開までもう少し…と思いつつ、ZOOM参加できることを、毎回ありがたく思います。コロナ渦の今回の時間も無駄にはならなかった。と思える本番を目指して。
本番は、今までよりも人の間隔をあける必要が出る予感。より聴いて、より感じて、そして少しでも楽譜から目を放せるように。練習から少しずつトライできるようにしたいです。

山村雅子(S2)

一年後、息子の運動会・勤務先の運動会が日程的に重なると本番は出演できません。出演できるかどうかは、来年4月の息子の入学式の日になるとおもいます。どうか日程が重なりませんようにと祈っています。

奥村直登(T)

あと一年、あつという間です。この間奮闘努力して皆さんに追いつきたいと思ひます。

山内 信子(A)

プロテスタントとカトリックの対立がまだまだ激しかった時代に、プロテスタント（ルター派）であるバッハがなぜ大規模なカトリックのミサ曲をまとめ上げたのか。

1724年にSanctus、1733年にKyrieとGloriaを作曲、旧作の世俗カンタータの一部転用や新たに書き下ろしなどして長い歳月を経てミサ曲口短調の全曲清書譜を完成させた。バッハが追い求めた普遍性とは一

練習の度に、その一曲の度に、皆と集えることが当たり前ではないことに、生かされていることへの感謝を込めて歌う。

その積み重ねを経て、一年後、平和への祈りを込めて歌う。

葛西真理(S2)

口短調ミサという大曲にTIVEでまた取り組むことができるととても嬉しいです。多分悔いは残る。悔いなく、なんて今から思えるような曲じゃない。合唱曲の中で一番難しい曲と思ってます。謙虚に自分を高めていきたいです。打ち上げでは笑って飲みたい。そんだけ(o´∀`o)

中橋和江(A)

仲間と歌えることの喜びを感じています。

石塚博子(A)

前回のTIVE口短調から10年目にあたる来年の本公演、今回は2013年7月7日七夕公演でした。tutti七夕号には、コロナ禍を乗り越えてこそその演奏となるよう、色々な面で前回公演を超える演奏会となるよう、団員一丸で邁進していく事を願います♪

コロナ渦のTIVEはこのような時間を皆で共有してきました。

(Tuttiアーカイブをご覧ください)

https://drive.google.com/drive/u/0/folders/1PLKJGoMLH9UQBOYkf2_fRSi02K4s9SRa

- 1) プライベートなGoogleアカウントでログイン
- 2) 委員会で団員のメールアドレスでアクセス権の許可済
- 3) アクセス権許可が必要な場合は、委員にお尋ねください。
(Googleアカウントをお持ちでない方は、新たに作成してください)

墨田区合唱祭 初参加決定！！

2022年9月25日(日) 13:00~

曳舟文化センター 大ホール

指揮：金井 敬先生

ピアノ伴奏：前川陽子先生

合唱：TIVE有志24名

<プログラム紹介文>

東京室内声楽アンサンブル(TIVE)は、墨田区を中心に都内各所で練習する20年続く合唱団で金井敬先生のご指導の下、質の高い緻密な音楽を目指してバロック、宗教音楽を演奏しています。

来年6月にバッハの口短調ミサ曲演奏会にむけ、高め合える仲間を探しつつ、研鑽を積んでいます。

今日はその中から、Gloria とEt in terra pax をお聴きください。

<アルト 阿久津みどりさん>

皆様こんにちは。

2016年のマタイ以来、再入団させていただきましたalto阿久津みどりです。現在はTIVEを含め4つの合唱団に所属しており土曜日も本来は練習日だったのですが、口短調の魅力に打ち勝てず、スケジュールを調整しながら参加させていただくことになりました。

口短調ミサを歌うのは6回目位なのですが、いつも目の前に高い大きな山が立ちのぼるのを感じます。

ミサが進む程に自分の内情を問い掛けられているような…。

“おまえはどうやって生きて来たのか。

今、心の中を占めているのは何なのか……”と。

この作品は難易度が高いというか取りづらい音程もあるけれど合唱部分が多く、バッハおたくの私にはとても魅力的な1曲です。

特に好きなのはSanctusと終曲です。

また、本番中にステージ上でAgnus Deiが聴けるのも愉しみのひとつです。

今回はどんな山の景色を描くことが出来るのか、

金井先生の感得された口短調に触れながら自分の中に

宝物を増やしていきたいと思っています。

どうぞよろしく願いいたします。



<バス 星徹さん>

はじめまして、この度TIVEに入団させていただいた星徹と申します。

バッハの音楽は若いころから好きでよく聴いてきました。

記憶に深く残っているのは、1969年、カール・リヒターがミュンヘンバッハ合唱団・管弦楽団を率いて来日したときのバッハ「マタイ受難曲」演奏会を東京文化会館で聴いたことです。この時のパンフレットは大事に保管してあります。爾来、バッハの曲は、演奏会やレコード、CDで聴いてきましたが、合唱団に参加して歌うことはありませんでした。

第一線から退いてリタイアする2010年頃、遅ればせながら宗教音楽を歌う合唱団に入りました。念願のバッハのマタイ受難曲やカンタータをはじめ、カイザーやヘンデルの受難曲などマイナーな曲にもチャレンジしてきました。

コロナ禍で活動休止状態にありますが、最近レクチャーを再開し、合唱団主宰者の師である（故）磯山雅先生の「ヨハネ受難曲」をテキストに学習会をしています。この間、合唱団で2度ほどドイツへバッハ音楽紀行に出かけました。ライプツィヒやチューリンゲン地方のアイゼナッハなどのバッハゆかりの小さな町々、ドレスデン、ベルリンなどの大都会をバッハの足跡をたどりバッハの音楽を聴き、ゆっくりと楽しみながら周りまわりました。

合唱を始めて10年ほど経ち後期高齢者になりました。若葉マークから紅葉マークへ直行し、元気で合唱に参加できる残り時間は多くはないと自覚しました。

選択と集中が必須と認識し、「口短調ミサ」へのチャレンジを思い立ち参加させていただきました。

想像以上に難易度が高そうですが、頑張りたいと思いますのでどうぞよろしく願い致します。

2023年6月17日（土）杉並公会堂大ホール
TIVE 第23回定期演奏会 J.S.バッハ ミサ曲口短調

団員の皆さま

2年以上続いた暗闇に光が差し、来年6月17日（土）に杉並公会堂大ホールでミサ曲口短調の演奏会を開催する運びとなりました。

コロナ禍においてはなかなか練習に人が集まらず、本当に口短調でよいのか？と悩む日々もありました。

諦めずに支え続けてくれた団員の皆さま、辛抱強くご指導くださった先生方には深く感謝しています。

団員には再入団者を含めて新たに6名（A阿久津さん、A河野さん、A山内さん、T佐藤さん、B船木さん、B星さん）の仲間が増えました。

本番まではあと11ヶ月余りです。

通常練習23回、強化練習5回と2日連続の通い合宿1回で、この大曲「ミサ曲口短調」を仕上げていくこととなります。

テキスト練習は最大2回転でしょう。ご自宅での譜読み、筋トレは必須です。

これからが正念場です！

中間発表の場としての9月の墨田区合唱祭には24名の仲間が参加します。

小さな発表での成功体験が来年の大きな本番の成功に繋がると確信しています。

合唱祭に不参加の方も、もしお時間ありましたら、ぜひ曳舟文化センターに仲間の歌を聴きにいらしてください。

TIVEでミサ曲口短調を歌うのは、恐らく今回が最後の機会となるでしょう。

悔いなき本番を迎えられるよう、あと11ヶ月、本気で練習に取り組んでいきましょう！

TIVE運営委員会 加藤典子